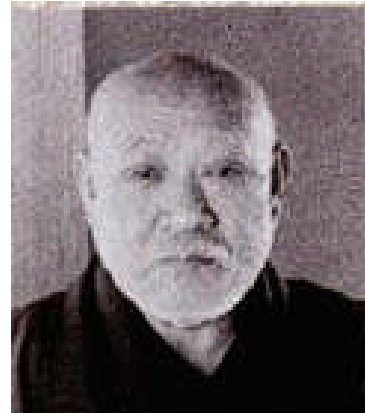


～木村武山～

☆はじめに☆

みなさんは、「木村武山」という人を知っていますか？

今回、私達が「木村武山」という人について調べてみようと思ったきっかけは、私達の住んでいる笠間市の有名人といえば、はじめに「木村武山」さんの名前が挙がるからです。でも、私達は、「木村武山」という名前は知っていましたが、実際、どのような人で、どんなことをしたのか、まではよく知らなかったので、故郷をくわしく知るためにも、良い機会だと思い調べました。



それから、「笠間小学校に通っていた。」ということだったので、ますます調べてみたくなりました。

☆木村武山の一生☆

- 1876年(明治9年)7月3日
茨城県笠間市に旧笠間藩士の長男として生まれる。本名は信太郎という。
- 1878年(明治11年)
武山は、2才ごろから南画家「桜井華陵(さくらいかりょう)」の手ほどきを受ける(師事)。
- 1890年(明治23年)
上京して、開成中学校に入学するが「川端玉章(かわばたぎよくしょう)」の画塾天真社(がじゅくてんしんしゃ)で学ぶ。
- 1891年(明治24年)
東京美術学校に入学する。
- 1896年(明治29年)
卒業後も同校に留まり、研究科(日本画)へ進級し、日本絵画協会 絵画共進会で、受賞を重ねる。
- 1901年(明治34年)
1898年(明治31年)に創立された、日本美術院に参加、最初は補員だったが後に正員となる。
- 1906年(明治39年)

五浦移転にあたり、「横山大観(よこやまたいかん)」、「下村観山(しもむらかんざん)」、「菱田春草(ひしだしゅんそう)」らと共に北茨城の五浦に移住する。文展に「阿房劫火(あぼうごうか)」や「孔雀明王(くじゃくみょうおう)」等を出品し、見事入賞に輝き、日本画家の第一人者としての地位を築く。

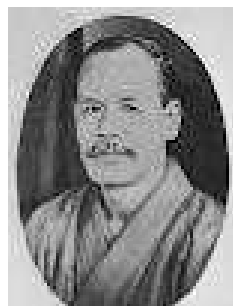
- 1907年(明治40年)
文化開設に当たり新派の国画玉成会に日本美術院を代表して参加、評議員・幹事となる。
- 1914年(大正 3年)
「横山大観」、「下村観山」、「菱田春草」と共に日本美術院を再興に経営者同人・評議員として参加、再興院展にすぐれた技巧(ぎこう)、色彩感覚をいかした壮麗な花鳥画、仏画を出品する。
- 1934年(昭和9年)
高野山(こうやさん)の壁画を完成させる。
- 1935年(昭和10年)
故郷箱田に大日堂を建立(こんりゅう)する。大日堂の壁画に情熱を捧げる。
- 1937年(昭和12年)
脳内出血で倒れ郷里箱田で静養、病で右手の自由が利かなくなったため左手で絵筆をとり「左武山」の異名をとる。
- 1942年(昭和17年)
太平洋戦争のさなか、喘息のため東京にて死去する。大日堂の壁画の完成を見ることができなかった。



晩年の武山



横山大観



下村観山

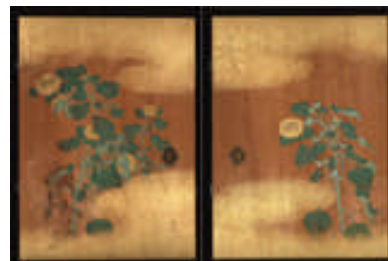


菱田春草

☆武山の代表作☆



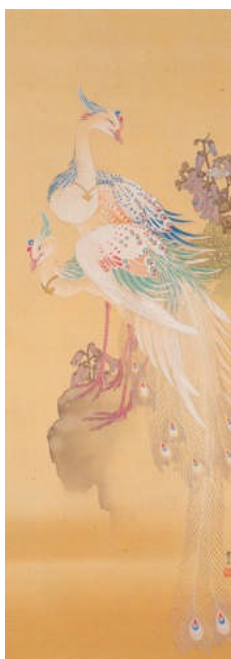
「阿房劫火(あぼうごうか)」



「向日葵(ひまわり)」



「生立(旭二筈)」(本校所蔵)



「桐花鳳(とうかほう)」

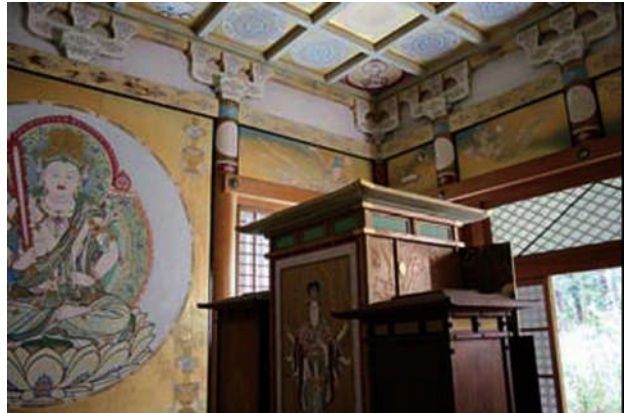


「雀の宿(すずめのやど)」

☆「大日堂」☆

♥ 大日堂ってなあに？

日本画家の木村武山は故郷の箱田に帰り、昭和10年、大日堂を建て、箱田吉祥院の本尊大日如来を安置しました。



大日堂の壁画

☆おわりに☆

私達は、木村武山について調べてみて、笠間小学校に通っていた事や数々の名作を残している事を知りました。また、箱田小に「生立(旭二笥)」という作品を寄贈いただいた事も先生から聞いて知りました。

偉大な武山の故郷茨城県笠間市をたくさんの人に知ってもらいたいです。

